

浜岡原子力発電所3号機 低圧タービンの点検について

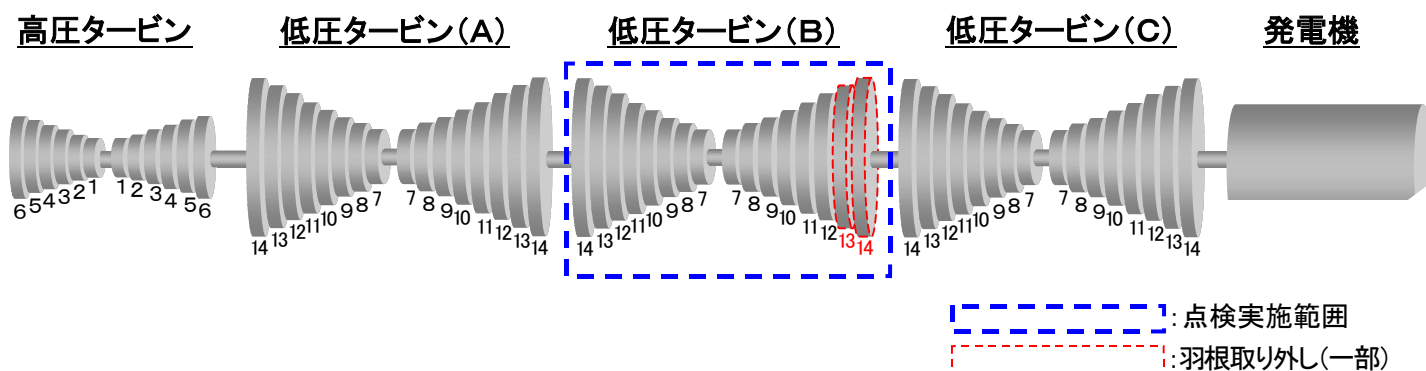
平成18年8月23日

定期検査中の3号機において、5号機で発生したタービン羽根損傷を踏まえ、明日(8月24日)より、低圧タービンの開放点検を開始し、健全性を確認します。

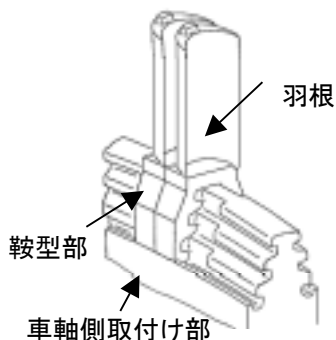
開放点検は、低圧タービン(B)について実施し、羽根取付けに鞍型を採用する7～12段、フォーク型を採用する13, 14段及び車軸側取付け部の外観点検や非破壊検査を実施します。

また、発電機側の13, 14段については、一部の羽根を取り外し、羽根取付け部の点検を実施します。

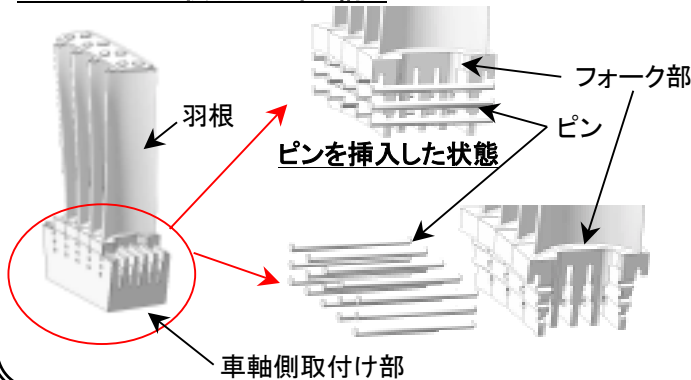
なお、1～4号機の低圧タービンにおいては、これまでの運転実績や点検実績から、5号機と同様な事象が発生する可能性は極めて低いと考えております。



鞍型の羽根取付け部の構造図



フォーク型の羽根取付け部の構造



以上